神明に親子で楽しめる複合的な施設を

現在、神明地区で、親子で利用できるカフェや自然体験ができるアクティビティなどを集合させた複合的な施設「ドリーム愛ランドビレッジ」が10月10日オープンに向け、急ピッチで創られています。これは、函館を中心に子育て中の母親を応援する活動をしている「ハピネットｍａｍａ」の三木洋子代表が中心となり、同活動を応援する七飯町在住の岩井徹さんの祖父母がかつて暮らしていた広大な土地を利用したもので、看板づくりなどは、上ノ国の子ども達と一緒に行っています。

上ノ国の子ども達と一緒に作った看板

扇石町内会が神社敷地内を整備

６月７日、扇石町内会は、同地区の瀧澤神社敷地内に、お年寄りや子ども達も気軽に立ち寄れるようにと、瀧澤神社祭の山車修繕によってでた廃材の柵と丸太を再利用したベンチを作製していました。

太田孝任会長は、「瀧澤神社は、春には桜が咲くため、町内会の花見などで人が訪れるが、キレイに整備されたこの場所を、夏や秋も家族連れなどに利用してほしい。」と話していました。

サクラの木の周りを囲う柵づくり

「夜明けの塔花畑プロジェクト」始動

町観光協会の「夜明けの塔花畑プロジェクト」が今年度から始まりました。夜明けの塔の周辺一面を花畑にし、新たな観光名所にしようという計画です。

この計画は、同会に所属する地域おこし協力隊の松原智史隊員が企画したもので、塔の南側には菜の花の種を蒔き、来春には一面が菜の花畑になる予定です。また、塔の北側に試験的に青い花が咲くネモフィラを植えており、すでに花が咲き始めています。近くをお通りの際は、是非ご覧ください。

苗の植え付け作業

ヒラメ大漁！

６月17日、汐吹漁港から漁にでた３隻の漁船が帰港し、ヒラメの水揚げ作業が行われました。３隻合わせた水揚げ量は１トンにのぼり、年に１度あるかないかの大漁を喜ぶ漁師さんたちは終始笑顔で水揚げ作業を行っていました。

今年は、新型コロナウィルスの影響で漁の開始が遅れたこともあり、シーズンを通してヒラメ漁が行われるということです。

ヒラメ漁の水揚げ作業